

目標達成計画

作成日: 平成25年4月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	ADLの低下に伴い、日々の日常生活活動が少なくなってきた、余暇時間をもてあましている方がいる。一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向を把握し、個別の余暇時間の充実を図る。	日々の生活の中に、個別レクリエーション・個別機能訓練を取り入れ余暇時間の充実を図る。	日々の暮らしの中に、具体的に個別レクリエーション・個別機能訓練の時間を取り入れ実施する。 ・余暇時間の過ごし方の把握 ・生活史の再度見直し ・趣味や特技の把握 ・生活リハの見直し(散歩を含む)	12ヶ月
2	33	重度化した場合や終末期の受け入れ方の方針が明確になっていない。	重度化した場合や終末期の受け入れ方の方針を明確にする。	付設の診療所や併設の特養と連携をとり、重度化した場合や終末期の対応を明確にする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。